

東大阪市公衆衛生協力会

〒578-0941 東大阪市岩田町4丁目3番22-500号(希来里)
TEL 072-960-3801 FAX 072-960-3806

事務局

明けましておめでとうございませう

昨年7月の年次総会において、佐堀彰彦前会長の後任として会長に就任させていただき早半年も過ぎました。

昨年もまたコロナ禍の中すべて理事会・総会も書面による開催となりましたが、これまで通り会員の皆様方のご協力のもと東大阪市民の公衆衛生の啓発普及が出来ました事、厚く御礼申し上げます。

昨年末には新型コロナウイルス新規感染者は激減しましたが、これもワクチン接種によるものと思われませんが、急速に拡大する新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」による第6波が心配ですので、まだまだ油断は出来ません。さて一昨年と同様に昨年

た食中毒予防啓発キャンペーンも中止となり、また例年11月に行われていた、薬物乱用防止キャンペーンも中止となり非常に残念です。

毎年11月に希来里で行われていた大々的な健康フェスタ2021は中止となりましたが、今年3月に希来里6階イコーラム会場にて健康フェスタ代替事業として薬剤師会・環境薬務課より掲示板・パネル展示・ビデオ放映等により手洗いうがい徹底等のポスター、かかりつけ医薬局の啓発、医薬品適正使用、覚せい剤等薬物乱用防止啓発、その他公衆衛生の向上等の啓発普及活動などパネルによる啓発事業を開催する予定ですので、これまで以上に皆様方のご協力の程心よりお願い申し上げます。

「東大阪市における公衆衛生生活環境の推進」理念の為に今後とも皆様方のご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

第5波が収まりましたのも、ひとえに東大阪市民の健康意識の高さと公衆衛生普及啓発活動によるものと自負しております。

今後とも皆様方のご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

本年も皆さん方のご健康とご多幸をお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。

そのサプリメント大丈夫？

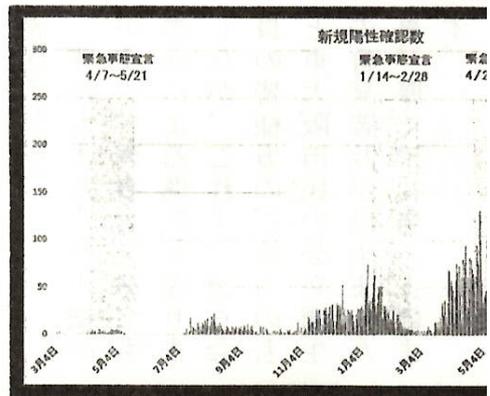
医薬品として承認を受けていない「いわゆる健康食品」(お茶やサプリメント類など)の広告で、「これを飲めば血液がサラサラになります」「これを飲めばアトピーが治ります」などと広告されていることがあります。

これら「いわゆる健康食品」はあくまで食品であり、医薬品ではありません。ですから、これらを食べたところで病気が治ったり、身体に影響を及ぼすことはありませんので注意が必要です。商品を購入するときにはパッケージなどの表示を確認し、その商品が医薬品なのか食品なのかを確認してから購入するようにしましょう。

最近問題になっているのが「模造医薬品」です。「模造医薬品」とは、法律に基づく医薬品の製造

たじろに 東大陽市
 の感染状況についてです。
 第4波、第5波は全国的にもかなり感染者数が増加し、本市でも多くの感染者がみられました。特に第5波では感染力の強いデルタ株もあり、1日の新規感染者数が2000人を超える日もありました。第4波と比べて、新型コロナウイルスの接種がすすみ、高齢者層の感染者が減少しました。一方、若年者層の感染者の増加により感染者の年齢層が低くなっていることが特徴です。今後も生活制限の緩和、ワクチン2回接種済みの方が感染する、いわゆるブレイクスルー感染、オミクロン株などにより、再び感染者数が増加していくことが予想されます。

次に、新型コロナウイルスの感染経路は飛沫感染、接触感染といわれています。感染拡大を防ぐためには手洗い、手指のアルコール消毒、適切なマスクの着用、「密の回避」など基本的な感染対策が必要です。マスクはできれば不織布の、顔にフィットするマスクを選び、隙間ができないよう正しく着用しましょう。また、食事の前後や共用物に触れた後、公共交通機関の利用後などには手洗い・アルコール消毒を行い、なるべく触ること



新型コロナウイルスの感染経路と対策

飛沫感染

マスクの着用！
間隔を開けて！

接触感染

手洗い！
アルコール消毒！

際には、同一テーブル4人以下で感染対策がとれている飲食店の利用を心掛けましょう。年末年始に友人や親戚と集まる予定を立てている方も多くいらつしやると思います。が、集まる人数を控える、人が多く集まらない場所を選ぶなど、感染が必要でないような工夫が必要です。

最後に、感染拡大を防ぐためには、皆さまのご協力が必要です。ワクチンを打ったから大丈夫、感染者数が減っているから大丈夫、ではなく引き続き、感染対策にご協力をお願いいたします。

症状が出たら？

新型コロナウイルス感染症の主な症状
発熱・咳・倦怠感など

その他
喉の痛みや頭痛、体の痛み、下痢など
症状は様々です。

◎まずは受診しましょう。

ロナ受診相談センターに相談をしてください。受診する際には、事前に医療機関に連絡をしてください。

現在では、口腔ケアが誤嚥とは周知の事実かと思いき、さらに、最近では、口腔インフルエンザの予防にも寄ります。(図2)は高齢者とコントロール群で比較しザの発症が1/10に抑えられます。また、お示しですが、とある保育園で過去3罹患者と健康者の口の中のインフルエンザ群で口の中の63.35%だったのに対して31%だったという報告が腔内細菌がインフルエンザにしていることが言われて悪い人はインフルエンザの菌数が多いことは容易に想像周病に関しては、多くの場合、何らかの症状(疼痛、発熱、手遅れであること)がそのため、定期的に専門的は必要だと思えますので、定期受診をお願いします。また、ウイルスの種類はを行うことで新型コロナウイルスも効果があるのではないか進んでいるようですので、